



2017  
PRIMÒ JAPAN  
CSR REPORT

---

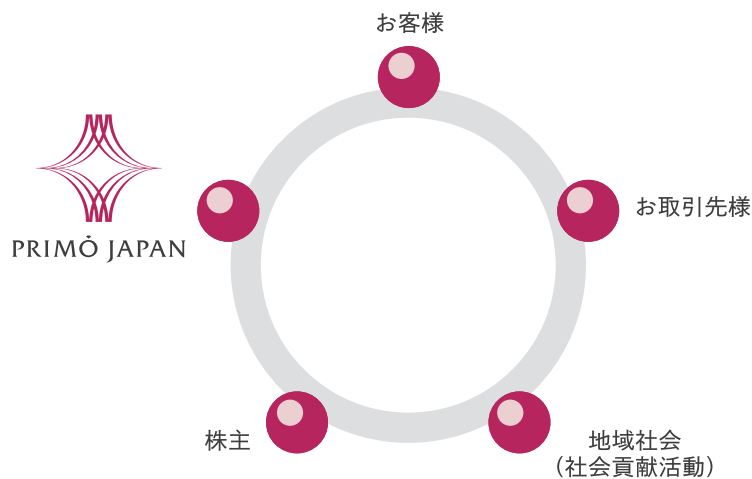
PRIMO RING PROJECT

# 活動理念

多くの人々の幸せを創りたいという想いから。

「最高の夢を最高の幸に」という企業理念に基づき、ひとりでも多くの人々の幸せを創りたいという想いから始まった活動、それが当社のCSR活動『PRIMO RING PROJECT』です。

お客様、お取引先様、従業員、地域社会、株主の皆様など、当社に関わる全ての人たちの願いが一つの輪(RING)となり、人々の笑顔の“RING”を大きく広げていきたいと考えております。



## PRIMO RING PROJECTの活動意義



# PRIMO RING PROJECTについて

## 社長挨拶

### 2017年のPRIMO RING PROJECTを振り返って

当社は創業以来、「最高(プリモ)の夢(おもい)を最高(プリモ)の幸せ(かたち)に」を企業理念とし、ブライダルジュエリーの企画・販売を続けてまいりました。人生で最も幸せな瞬間を控えて当社店舗にご来店されるお客様はもちろんのこと、当社の活動を支えてくださるお取引先様、店舗周辺の地域の皆様、株主の皆様、そして企業理念を胸に日々業務に邁進する従業員とその家族など、すべてのステークホルダーの「夢(おもい)を幸(かたち)にしたい」という考えのもと、2007年10月に収益の一部を寄付することから始まった活動は、笑顔の輪が広がることをイメージしてPRIMO RING PROJECTと名付けられ、2018年秋には12年目を迎えます。当社はブライダルジュエリー専門店として、国内外で100店舗を超える規模となりましたが、PRIMO RING PROJECTはその発足当時と変わらず、「社員の自主性」によって運営されていることが最大の特徴であり、また多彩な活動を支える根幹であると考えております。



代表取締役社長

澤野直樹

店舗周辺の清掃活動では、汗を流す社員に「ご苦勞様」とお声をかけていただくことで地域の皆様との暖かな交流が生まれています。また、中学生を対象とした職場体験活動では「いつか自分も大切な人にジュエリーを贈りたい」という感想も寄せられ、職業観にとどまらないブライダルジュエリーの魅力を将来世代にお伝えする機会にも恵まれ、活動に参加する社員のモチベーションUPにもつながっています。

先輩社員から後輩社員へ、活動を通じた喜びが輪のように広がり、2018年も全国から集まったプロジェクトメンバーを中心に、多くの活動が予定されています。ブライダルジュエリー専門店として「人生で最も幸せなお買い物」のお手伝いができる喜びを、日頃当社の事業活動を支えてくださる方々の笑顔に変えて、引き続きPRIMO RING PROJECTを推進してまいります。是非、ご期待ください。




PROJECT MEMBER



PRIMO RING PROJECT隊長  
総務人事務部長  
**播口 恵美**

2017年は10年間のPRIMO RING PROJECTで取り組んできた活動の全てをメンバーが自主的に継続し、よりよいものに上げることが出来ました。2018年は新たなステージへのヒントを探りながらメンバーと共に地道に活動を続けていきたいと思っております。

PROJECT MEMBER



アイプリモ新宿店店長  
**白樺 真悟**

店舗スタッフの意見がすぐに本部で議論されるなど、よりダイレクトに現場の声が届けやすくなりました。ユニット内の各店舗からも様々な意見があがるようになったと感じています。

PROJECT MEMBER



アイプリモ山形店  
**青木 晴美**

全国から集まったメンバーとの活動や意見交換など、繋がりを実感できました。イベントの達成感を皆で共有できた貴重な1年間でしたので、この経験を多くのスタッフに広めていきたいです。

社内横断型  
「PRIMO RING PROJECTチーム」

PRIMO RING PROJECTチームは、当初のCSR活動を積極的に推進していく事をミッションとし、全国から立候補したメンバーで構成されています。第9期となる2017年も、全国での活動実施とプロジェクトの浸透を目指して活動起案から携わるプロジェクトメンバーと、全国で活動を推進するサポートメンバーという2つの軸で取り組みました。

PROJECT MEMBER



アイプリモ銀座本店副店長  
**湯浅 聖子**

活動5年目を迎え、以前に比べると、PRIMO RING PROJECTに興味を持つスタッフが増えてきていると感じ、本当に嬉しいです。今後もメンバーが発案したアクションを全社を巻き込み取り組んでいきます。

PROJECT MEMBER



アイプリモあべのハルカス店  
**春谷 侑**

活動を通じ、通常業務では気付かない事や、知り得なかった事に触れることができました。職場の環境を良くしようと積極的に意見を出し合う仲間の姿に沢山の刺激をもらい、今後も活動を続けていきます。

PROJECT MEMBER



アイプリモ銀座本店  
**櫻井 春菜**

起案から実行までメンバーで意見を出し合いながら活動するPRIMO RING PROJECTはとても楽しく、日常業務に加え、大きなやりがいを感じました。日頃接する機会が少ない学生との交流など、大変貴重な経験でした。

SUPPORT MEMBER



ラザールダイヤモンド札幌店  
**後藤 歩**

職場体験や地域活動など、PRIMO RING PROJECTは私にとって学びの場でもあり、大変良い経験になりました。活動の成果をこれから出会う人たちに伝えていこうと思います。

SUPPORT MEMBER



ラザールダイヤモンド札幌店  
**菅原 実穂**

ジョブプラクティスや、富士山清掃など、毎年続いている活動でも、毎年新しい気持ちがあります。PRIMO RING PROJECTを通じて貴重な体験ができることを感謝しています。

SUPPORT MEMBER



アイプリモ四日市店  
**滝本 真耶子**

店舗全体の協力体制のもと職業体験を実施し、仲間の協力があってこそそのPRIMO RING PROJECTであることを実感しました。今後も中部エリアの「インフルエンサー」として頑張ります。

SUPPORT MEMBER



アイプリモ新宿店  
**小野高 飛鳥**

「こうだったらいいな」というひとつの小さな声から、「それいいね!やってみようよ!」という思いを通じ、様々な活動に発展していきます。普段交流の少ないエリアのメンバーと意見交換ができることにやりがいを感じます。

SUPPORT MEMBER



ラザールダイヤモンド札幌店  
**田中 優衣**

自分だけでは赴く機会が無い場所で活動を行ったり、活動を通じて様々な人々と親睦を深めることが出来たのもPRIMO RING PROJECTのおかげです。これからもグローバルに、更に大きな輪となりますように!

SUPPORT MEMBER



経営企画グループマネージャー  
**吉岡 真由美**

社員の意見がプロジェクトで提案されることで、PRIMO RING PROJECTの名前のおと、たくさんの輪ができました。こうした「つながり=輪」を大切に、そして感謝し、今後も活動に携わっていきます。

SUPPORT MEMBER



営業本部マネージャー  
**丸山 阿紀**

様々な活動やメンバーとの交流を通じ、いつも刺激と新たな学びを得ています。またボランティア活動だけではなくお客様や従業員視点での活動も増え、大変有意義に感じています。



## 商品信頼への取り組み

### 6号サイズのサンプル導入

当社では、主に女性用の店頭サンプルとして、11号サイズのサンプルをご用意しておりましたが、「よりフィット感のあるサンプルを試したい」とのご要望を受け、2016年より8号サイズのサンプルも全店に導入しました。8号と11号を揃えることでおよそ70%強のお客様のサイズをカバーできておりますが、一生身につけていただく結婚指輪を選ぶにあたり、お客様により納得してご購入いただけるよう、代表的なデザインのリングについては6号サイズのサンプルも2018年春より導入することが決定しました。これにより、90%近くのお客様のサイズをカバーし、着け心地や見栄えについても十分吟味してお選びいただくことができます。



## お客様とともに

### 「CS向上委員会」発足

2017年3月、「CS向上委員会」が発足しました。CSは、Customer Satisfaction(顧客満足)の略称で、代表取締役社長を筆頭に毎月ゲストメンバーを加えながら様々な視点で話し合い、お客様の立場から総合的かつ全社横断的に、そしてできるだけスピーディーに様々な事柄について判断することを目的としています。

お客様の声を元に2017年度に実施した主な取り組みは、「I-PRIMO:適用サイズの統一化」「LAZARE DIAMOND:主流のプラチナだけでなく、ご要望のあったイエローゴールドのエタニティリングのサンプル導入」の2点です。また、2018年1月より保証期間を従来の3年間から、期限なしとしました。今期も引き続きお客様に寄り添ったパーソナルサポートを続けてまいります。

### ダイバーシティの実現に向けて

様々な事情をお持ちのお客様へ配慮すべきことをまとめた『クローバー手引き』が一新され、『クローバーの方のために～私たちが出来ること～』(全19ページ)へリニューアルしました。妊産婦さんへの配慮すべきことや、様々な障がいの特徴など、ご来店いただく際に心がけるべき情報に、すべての社員がアクセスできるよう体制を整えました。相手の立場に立って考え、行動し、全てのお客様に最高のパーソナルサポートが提供できるよう、今後も随時情報を更新してまいります。



## ブライダル業界初! 女性活躍推進の証 「えるぼし」最高位を取得

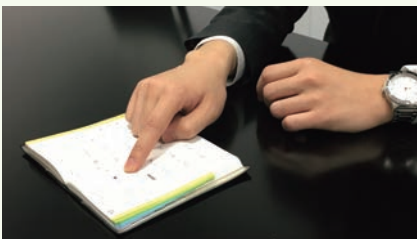
プリモ・ジャパンで働く社員の85%は女性。店長職に限っても女性の割合は80%に迫り、管理職全体でも50%を超えています。女性の活躍があってこそそのプリモ・ジャパンであり、PRIMO RING PROJECTでも、メンバー自らが手を挙げ、ひとつひとつ様々な問題点や課題に取り組み、制度を構築してきました。こうした実績から、女性活躍推進を目的に厚生労働省が定める「採用」「継続就業」「労働時間」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの評価項目すべてを高いレベルでクリアし、女性が活躍している企業として「最高位(三つ星)」と認定。これはブライダル業界初の快挙でもあり、二重の喜びとなりました。多様な社員が男女の区別なくいきいきと活躍できるよう、これからも働きやすい、より良い職場環境を進めてまいります。



## 育児休暇を取得した男性社員インタビュー

### Q: 育児休暇を取得した経緯は?

長女の出産時は公休を使って立ち会うことができました。しかし、次女の出産にあたっては、誰かが長女の世話をしなくてはなりません。自分も妻も両親とは遠く離れており、頼れる人が近くにいないため、今回は自分がしっかりサポートする必要があると感じ、安定期を待ってすぐに店長や副店長に相談しました。すると「せっかく育児の制度があるから、取得してみたら?」と詳しい説明資料を手渡され、会社としてバックアップしてくれているんだな、と感じました。その直後に店舗異動になったのですが、新しい環境でもユニットマネージャーをはじめ、皆さんがシフト調整をしてくれたので、出産後の育児6日と特別休暇を合わせ、のべ19日間の連続休暇を取得できました。



### Q: 育休を通じて感じたことは?

次女の出産後、妻が入院している間、長女

### アイプリモ新宿店 莫 東尼(モ・トニー)さん

香港出身。来日後に日本語とジュエリー制作を学んだ後、ジュエリーデザインの技術職を経て、「アジア地域での積極的なビジネス展開に魅力を感じて」2015年プリモ・ジャパンに入社。アイプリモ銀座本店、アイプリモ新宿店に勤務する傍ら、中国・上海市で開催されるブライダルフェアの接客応援に出張することも。日本人の奥様との間に生まれた2歳と0歳の女の子のパパです。



とふたりだけの時間を過ごしました。最初の2日ほどは「ママ!ママ!」と泣き叫ぶこともあり、慣れない離乳食作りも大変で、自分が泣きたい気持ちに(笑)。それでも3日目くらいから、「パパ!」と呼びかけてくれる回数も増え、夜の寝かしつけもスムーズになり、父娘の関係性に変化が感じられたのが本当に嬉しかったです。同時に、いつも子育てと家事を頑張ってくれている妻の大変さに改めて気付き、感謝の気持ちがより一層大きくなりました。

### Q: 普段の子育ての様子は?

実は、仕事のある日はほとんど子育てに参加できていません。子供たちは20時過ぎには寝かしつけるので、帰宅時間とちょうど重なり、そーっと玄関に入ることも(笑) その代わりに、休みの日の午後は家族全員

で出かけたり、ふたりの子供をお風呂に入れたり、できるだけ妻の負担が軽くなるよう心がけています。僕が料理を作ることもありますよ。

### 取材を終えて

理想の夫婦像は「信頼し合い、支え合う関係」と語る莫さん。自己採点では「信頼は100点、でも自分は妻を70点くらいしか支えられていないかな…」とのこと。将来復職を考えている奥様とは、今後の子育て環境について話が及ぶことも。「他社の友人の話も聞きますが、相対的にプリモ・ジャパンは各種制度が整っていると感じます。しかし女性社員が多く、出産を控えている世代も多いので、将来的には企業内保育施設などが整備されるといいですね。最近はお子様連れのお客さまにも関心が向くようになり、店舗にキッズスペースがあったらいいな、などと考えるようになりました」(莫さん)



## 富士山清掃活動

2017年度で6回目となった富士山清掃活動。北海道、東北、関西など、全国から15名の社員が参加しました。今年の活動場所は富士山麓・朝霧高原。美しい森に一步足を踏み入ると、大小さまざまなゴミを目の当たりにし、メンバー一同、真剣な面持ちに。大型ゴミの回収や、急斜面でのゴミ拾いなど、体力勝負の場面もありましたが、総量で約80kgのゴミを集め終える頃には、心地よい汗と充実感に包まれました。

人間の営みの結果としてのゴミが、豊かな自然とすぐ隣り合わせにあることを実感しつつ、いつまでも美しい富士山であって欲しいと願い、今後も活動を続けてまいります。



## 全国各地での清掃活動

2017年7月5日

札幌市中心部の創成川公園にて11名の社員が、札幌市の市民ボランティア「お助け隊」の皆様と協力し、ゴミ拾いおよび除草作業を行いました。ベテランの先輩社員から4月に入社したばかりの新卒社員まで、PRIMO RING PROJECTの活動意義もしっかり伝えながら参加しました。



2017年9月14日

大阪府南部に位置し、「日本の白砂青松100選」にも選ばれた海水浴場「二色の浜ビーチ」にて、12名の社員が清掃活動を行いました。白くまぶしい砂浜も、足を踏み入れてみると、夏休み直後ということもあり、花火などのゴミが多くありました。約1時間ほどの作業で大きいゴミ袋6枚が一杯に。地元の方々と心温まる交流もあり、有意義な活動になりました。



2017年10月4日

茨城県水戸市の泉町エリア、新潟県新潟市の万代エリア、栃木県宇都宮市のオリオン通り周辺で、のべ17名の社員が店舗休業日を利用して一斉に清掃活動を行いました。水戸では北関東地区を統括するマネージャー自ら先頭に立ち花壇の雑草除去に汗を流すなど、社員同士の交流を深める機会にもなりました。



## 中学生の職業体験協力

実際の仕事を体験し、将来の進路の参考にするため、全国の中学校で2年次に行われている職業体験活動。プリモ・ジャパンでは、仕事内容の理解や勤労意識の醸成だけでなく、「結婚」や「プロポーズ」そして「ブライダルジュエリー」の魅力も伝えられるようなオリジナルプログラムを用意し、2014年から各地で主体的に取り組んでいます。

2017年度は全国の5つの店舗にて、計7回開催しました。参加した学生からは「ジュエリーのお仕事をしてみたいです」「プロポーズをしたくなりました」など、嬉しい感想がたくさん届きました。



5/10~11	アイプリモ山形店	生徒	3名
5/10~12	アイプリモ京都店	生徒	5名
5/24~26	アイプリモ京都店	生徒	2名
7/12~13	アイプリモ四日市店	生徒	3名

10/25~26	アイプリモ仙台店	生徒	4名
11/ 8~10	アイプリモ四日市店	生徒	3名
11/16~17	アイプリモ札幌店	生徒	3名

## 古着回収

日本全国の店舗社員による協力のもと、2017年度も衣替えの季節に合わせて古着等の回収を行いました。4月には『古着deワクチン』、10月には『ECO to SHIP』の活動を通じ、ダンボール155箱(上半期82+下半期73)に相当する古着等を寄付。それぞれ途上国でのポリオワクチン接種や日本動物愛護協会、日本自然保護協会へ寄付を行いました。当社では子育てをしながら働く女性が多く、家庭で不要になった子供服やぬいぐるみなどが特に多く集まる傾向にあるため、寄付のみならず、開発途上国における衣料品需要にも応えることができています。



## 社会貢献活動

### 自立と夢を応援する ジョブ・プラクティス

「ジョブ・プラクティス」とは、児童養護施設で生活する中高生のための就職支援活動の一環として、実際の仕事を体験するプログラムです。児童養護施設で暮らす子どもたちの多くは、18歳の退所と同時に就職することが多いため、あらかじめ仕事に対するイメージを高めてもらうことを目的としています。また、プリモ・ジャパンでは「働くうえでのマナーや言葉づかい」など実践的なワークショップだけでなく、ブライダルジュエリーを通じて「結婚」についても身近に感じてもらい、仕事や未来に明るい希望を持ってもらえるよう、特定非営利活動法人「ブリッジ・フォー・スマイル」様とともにオリジナルの就業体験プログラムを実施しています。2017年度は8月に東京と福岡にて実地し、計13名の学生が参加しました。プログラム開始直後は皆、緊張の面持ちでしたが、本物のダイヤモンドに触れたり、働く女性のロールモデルとして当社社員との交流を深めるなか、プログラム終了時にはたくさんの笑顔と「貴重な体験ができてよかった」「働くことが楽しみにになった」「私もお客様を笑顔にしたい」「こんな大人になりたい」などの嬉しいコメントが寄せられました。



### 「おもいでかえる」 写真洗浄活動



PRIMO RING PROJECTでは、特定非営利活動法人「おもいでかえる」様が主催する写真洗浄活動に2012年より毎年参加しています。写真洗浄とは、東日本大震災の津波や、全国で相次ぐ台風や水害で被災した地域で見つかった持ち主のわからない写真の汚れを丁寧に洗い落とし、できるだけ元の形に戻して持ち主にお返しするための活動です。2017年度は東北・関東の社員6名が参加し、主に千葉県から届いた写真の復元作業に従事しました。復元作業は、水を含ませた筆を使い、泥や土、バクテリアなどで腐食した写真のインクを、丁寧に撫で洗いして行われます。水に濡れた写真が丸まったり、写っている方のお顔が消えたりしないよう工夫しながら慎重に作業を進め、のべ300枚ほどの復元作業に携わりました。

### 気仙沼・こどもクリスマス会



東日本大震災の年から始まり、2017年で7回目を迎えたクリスマス会。気仙沼市児童館を通じ、準備期間中から「今年もクリスマス会がとても楽しみです」と嬉しい期待の声が届くほど、地域に定着したイベントになりました。年々参加者が増え、2017年度は5つの児童館の合同企画として気仙沼市松岩公民館

にて開催し、合計222人の親子が参加。寒さを吹き飛ばすほど、たくさんの笑顔が見られました。イベント当日、サンタクロースやトナカイに扮したプリモ・ジャパンの社員8名が登場すると、子供たちは大喜び。子育て中のママ社員の意見を取り入れ、小さな子供でも楽しめるシールを使った工作を楽しんだり、

サンタクロースからのささやかなプレゼントも用意しました。当社「アイプリモ」の店舗で使われていたクリスマスディスプレイのうち、ツリー、オーナメント、ランプについては、希望された児童館に寄付させていただき、イベント以外でもクリスマス気分を盛り上げるお手伝いことができました。



# 社会貢献活動

## アジアの子供たちへ 教育支援

アジア地域で事業を展開するプリモ・ジャパンでは、「子供たちへ、未来への大切な贈り物」として、公益財団法人「プラン・インターナショナル・ジャパン」とともに、これまでベトナム・フィリピン・タイにおいて教育支援を行ってまいりました。2016年から2017年にかけてはネパールのカルナリ県ドルパ郡ルマ村にあるジョディ小学校の改装および幼稚園舎建設プロジェクトを支援しました。

### ネパールの課題

ネパールでは山岳地域が多く、全人口の80%が農村部で生活し、社会的弱者とされる子供、女性、少数民族などが、開発から取り残されています。小学校への就学率は97%に到達するものの、最終学年まで在籍した児童はわずか55%であり、これは就学前に受けるべき乳幼児教育が適切に提供されておらず、入学時点において十分な社会性と学習姿勢が身につけていないことが理由として挙げられています。

### ドルパ郡の状況

約40,000人が暮らすドルパ郡の教育水準はネパール国内でも最低レベルにあり、教師はトレーニングを受けたことが無く、子供の年齢に応じた設備・教材も不足しています。小学校1年生の教室では未就学児が間借りしながら幼児教育が行われていることもあり、小学校1年生から2年生に進級できたのはわずか64%と、全国平均を更に下回ります。給水栓が機能していないため、飲料水の確保および下水処理にも改善すべき点が多く見られました。



### 活動の詳細

- 幼稚園園舎／付帯設備(トイレ・台所等)の建設
- 小学校校舎の改装
- 備品・教材・知育玩具の提供
- 教師を対象とした幼児教育教授法トレーニング
- 保護者を対象にした親業トレーニング



2016年4月より建設工事が始まり、これまで乳幼児も交えて授業が行われていた小学校校舎も改装。1年後の2017年4月に、ジョディ小学校に隣接する幼稚園園舎も完成しました。現地からは喜びの声も届いています。

「以前は乳幼児も一緒に使っていて汚かった教室がとてもきれいになりました。本や遊具、教材がたくさん揃って、とても勉強しやすくなりました」(スディップ・小学校1年生)

「以前は子供の学習状況に関心はありませんでした。しかし今は子供が一日も休まず幼稚園に通うようになり、親としても嬉しく思っています」(ラリ・幼稚園に通う子供の保護者)

本レポートの表紙にはPRIMO RING PROJECTのシンボルパターンがデザインされています。

結婚指輪に由来したパッチワークとして古くから伝わる

“ダブルウェディングリング”をモチーフとし、「つながり」や「広がり」、「幸せの連鎖」といった、プロジェクトに込めた想いを表現しています。